

# しりべし経済レポート

**Vol.111**  
(令和6年5月発行)



**財務省 北海道財務局 小樽出張所**

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/otaru/index.html>

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

# 目 次

総括判断	.....	1
個人消費	.....	2
観 光	.....	4
住宅建設	.....	6
公共工事	.....	7
生 産	.....	7
雇 用	.....	8
【 参 考 】		
金 融	.....	9
企業倒産	.....	10

＝利用に当たっての注意＝







- ・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
- ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

## 1. 【令和6年1月～3月期 総括判断】

# 管内経済は、持ち直している

	前回 (5. 10～12期)	今回 (6. 1～3期)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

## 2. 【各項目の判断】

	前回 (5. 10～12期)	今回 (6. 1～3期)	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
観光	持ち直している	緩やかに回復しつつある	
住宅建設	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しの動きに一服感がみられる	
公共工事	前年を上回る	年度累計では前年を上回る	
生産	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

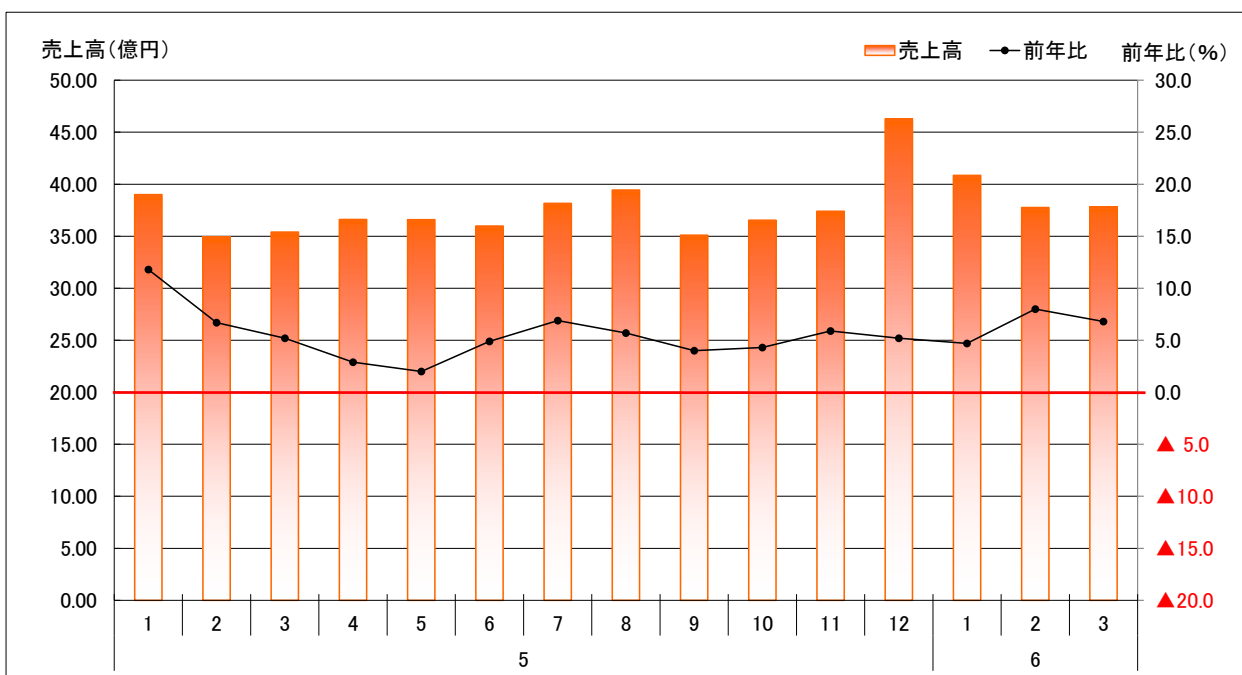
## 【個人消費】

### 持ち直しつつある

主要小売店売上高は、価格上昇が続く中、インバウンド回復の影響等から、前年を上回っている。

新車登録・届出台数は、一部メーカーの認証不正による生産停止の影響等から、前年を下回っている。

### 主要小売店売上高



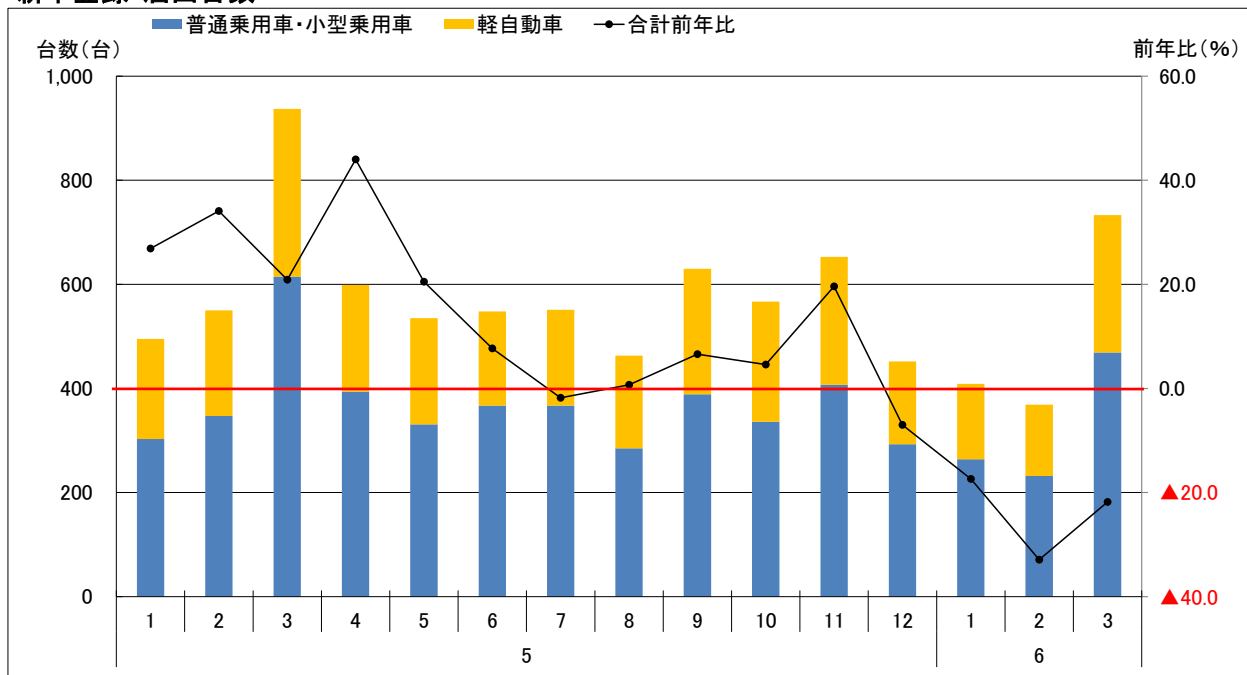
(単位: 百万円、%)

	合計		うち 飲食料品		うち 衣料品	
	前年比	前年比	前年比	前年比		
4年	42,815	0.5	27,965	0.6	1,337	0.4
5年	45,145	5.4	29,485	5.4	1,314	▲ 1.8
5.1~3	10,936	8.0	7,319	7.0	297	8.6
4~6	10,918	3.2	7,053	3.8	342	▲ 0.1
7~9	11,270	5.5	7,429	5.7	300	▲ 5.4
10~12	12,021	5.2	7,685	5.2	374	▲ 7.4
6.1~3	11,642	6.5	7,842	7.2	270	▲ 9.0
5年10月	3,654	4.3	2,359	5.2	120	▲ 9.7
11月	3,740	5.9	2,341	4.1	123	▲ 3.6
12月	4,627	5.2	2,985	6.1	131	▲ 8.6
6年1月	4,085	4.7	2,759	5.6	93	▲ 11.1
2月	3,776	8.0	2,565	7.6	77	▲ 4.4
3月	3,781	6.8	2,519	8.5	100	▲ 10.4

(資料) 北海道財務局小樽出張所

※主要小売店売上高は、令和4年7月に集計対象小売店が変更となったため、遡及可能な範囲で売上高及び前年比を再計算している。そのため、以前までの数字と連続しない。

## 新車登録・届出台数



(単位: 台、%)

	合計		普通乗用車・小型乗用車		軽自動車	
	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
4年	6,130	▲ 1.4	3,781	▲ 1.9	2,349	▲ 0.4
5年	6,980	13.9	4,434	17.3	2,546	8.4
5.1~3	1,982	25.8	1,265	25.4	717	26.7
4~6	1,682	22.9	1,092	33.0	590	7.7
7~9	1,644	2.0	1,041	2.8	603	0.7
10~12	1,672	6.2	1,036	10.4	636	0.0
6.1~3	1,511	▲ 23.8	965	▲ 23.7	546	▲ 23.8
5年10月	567	4.6	336	5.7	231	3.1
11月	653	19.6	407	21.5	246	16.6
12月	452	▲ 7.0	293	2.8	159	▲ 20.9
6年1月	409	▲ 17.4	264	▲ 12.9	145	▲ 24.5
2月	369	▲ 32.9	232	▲ 33.1	137	▲ 32.5
3月	733	▲ 21.8	469	▲ 23.7	264	▲ 18.0

(資料) 北海道財務局小樽出張所

### 個人消費に関する生の声

- ・インバウンドを中心に飲食料品の買上げ点数が昨年より多かった。特に高価格帯の寿司、ワインの購入が目立った。(小売店)
- ・国内外観光客を中心に菓子(PB商品や土産商品)の売れ行きが良かった。(小売店)
- ・消費者の購買動向について、セール日(ポイント還元、〇%割引)のまとめ買いが多くみられることから、消費者の生活防衛意識の高まりを感じている。(小売店)
- ・客単価が前年より上がっている要因は、買上点数は前年並みであることから、物価高による商品の価格上昇の影響と考えている。(小売店)
- ・登録台数は、一部メーカーの認証不正による生産停止の影響から大幅に下がった。(乗用車販売店)
- ・半導体不足の影響による納期の遅れはみられなくなった。(乗用車販売店)

#### 【先行き】

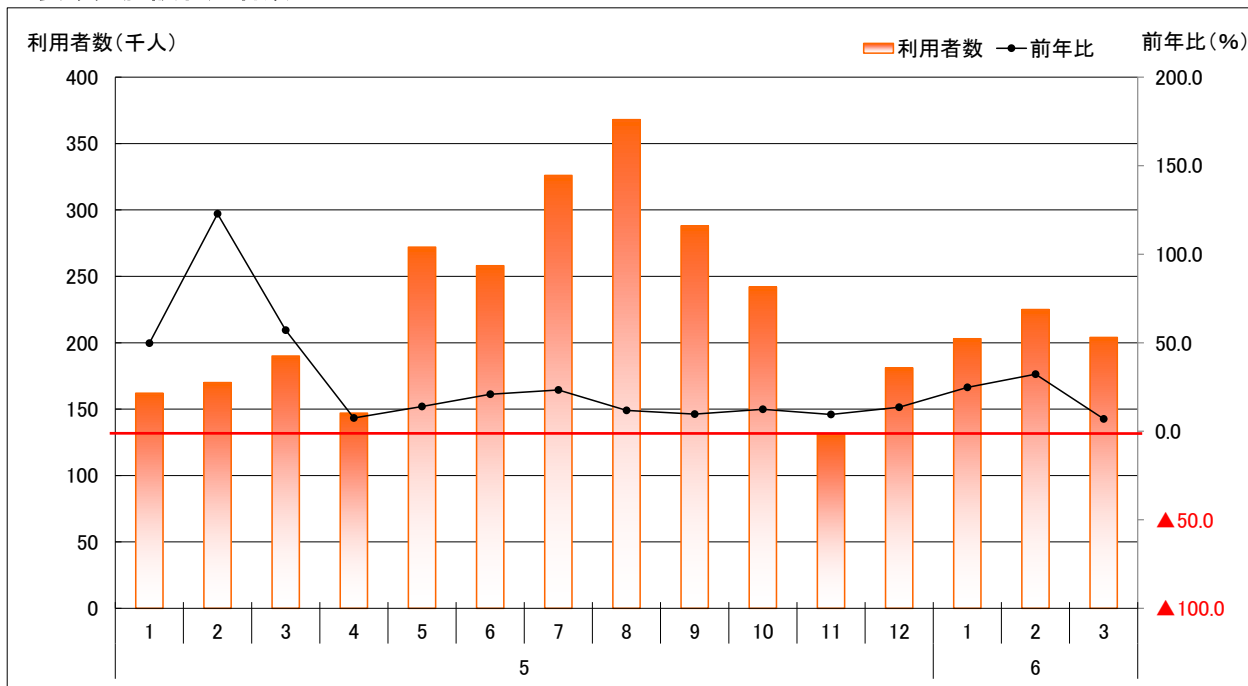
- ・4月以降の消費者の購買動向は、賃金の引上げや定額減税の影響によって、一時的に嗜好品の購入が増える可能性はあるものの、物価上昇等の家計を圧迫する要因が続いていくことから、鈍くなっていくと予想している。(小売店)
- ・一部メーカーの認証不正による生産停止の影響により1~3月に新車購入希望だった顧客が4月に購入していることから、4月の登録、受注台数は前年より多くなると予想している。(乗用車販売店)

【観光】

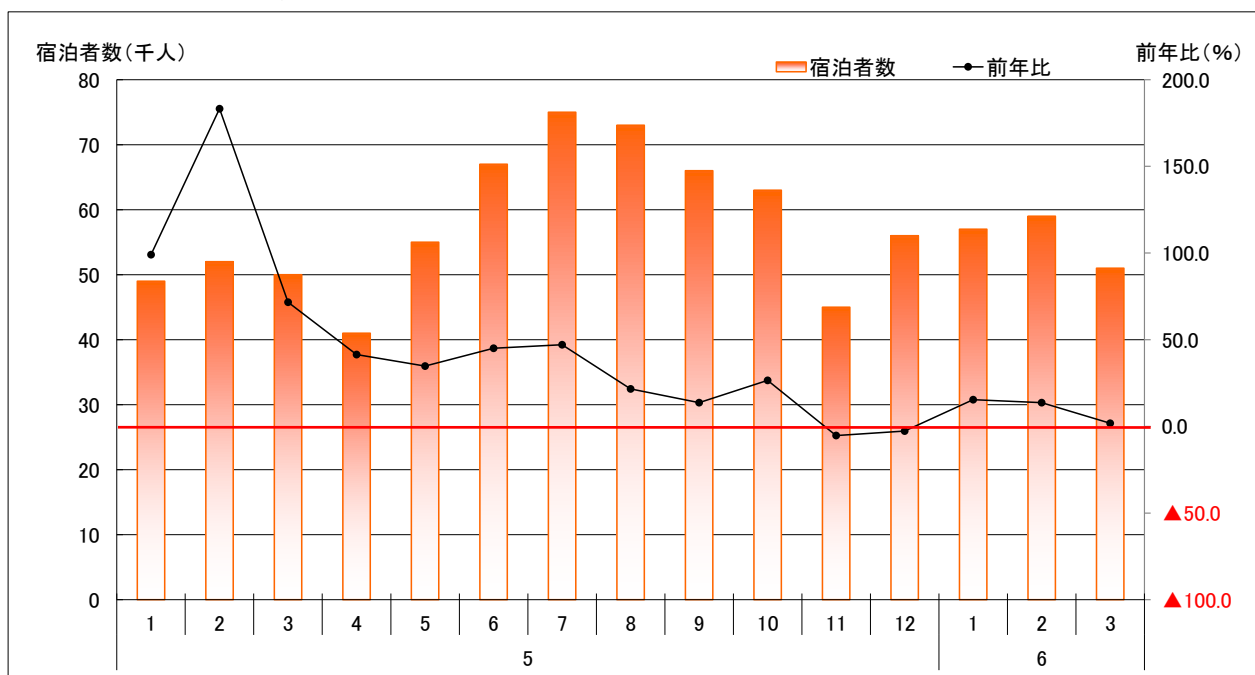
緩やかに回復しつつある

主要観光施設利用者数及び主要宿泊施設宿泊者数は、コロナ対策の緩和や円安により海外客が増加したことから、前年を上回っている。

主要観光施設利用者数



主要宿泊施設宿泊者数(小樽市)



(単位:人、%)

	主要観光施設 利用者数		主要宿泊施設 宿泊者数	
		前年比		前年比
4年	2,245,733	62.2	512,174	93.8
5年	2,736,229	21.8	692,052	35.1
5.1～3	522,742	70.9	151,009	2.1倍
4～6	676,973	15.0	162,150	40.5
7～9	982,254	14.7	214,433	26.6
10～12	554,260	12.1	164,460	5.9
6.1～3	631,074	20.7	166,550	10.3
5年10月	242,122	12.4	63,325	26.5
11月	131,486	9.5	44,809	▲5.3
12月	180,652	13.6	56,326	▲2.7
6年1月	202,664	24.8	56,781	15.4
2月	224,869	32.2	58,755	13.7
3月	203,541	7.0	51,014	1.8

(資料)小樽市、北海道財務局小樽出張所

※1.主要観光施設利用者数は、令和4年1月及び令和5年4月に集計対象施設が変更となったため、過去に遡って人数及び前年比を再計算している。そのため、以前までの数字と連続しない。

※2.主要宿泊施設宿泊者数は、令和4年10月に集計対象施設が変更となったため、以前までの数字と連続しない。

### 観光に関する生の声

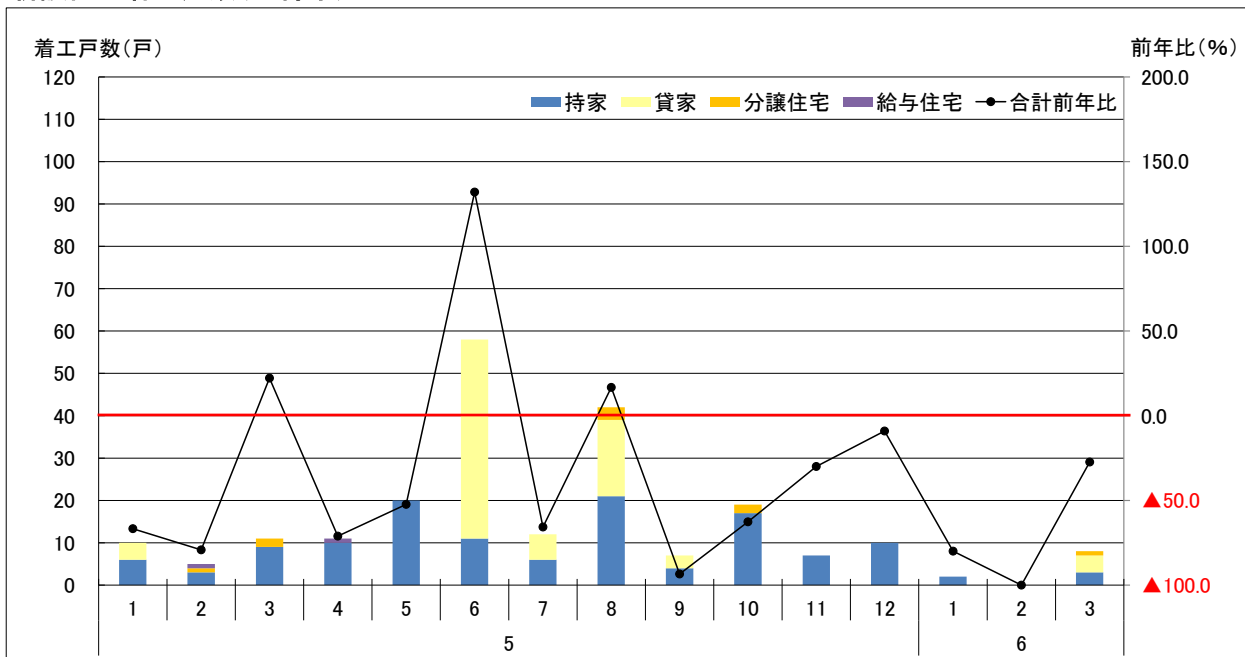
- ・宿泊客が増えた要因としてはコロナ感染症が5類に移行となったことや水際対策の緩和、円安傾向が続いていることが挙げられる。(宿泊施設)
  - ・来館者が前年より増えた要因としては、コロナ感染症が5類に移行されたことや円安のほか、海外からの航空定期便の多くがコロナ禍前の状態に戻ったことにより北海道へ旅行に来る人が増えたためではないかと思われる。(観光施設)
  - ・宿泊客に関してはインバウンドの増加が著しかった。国内客も増加したものの、インバウンドの増加が大きかったため宿泊客全体に占める国内客の割合は小さくなった。(公的機関)
  - ・インバウンドに関しては、今年はアメリカ、オーストラリアからの宿泊客が前年に比べて最も伸びている。(宿泊施設)
- 【先行き】
- ・台湾の団体が5月、6月に複数入っており、全体的には前年よりプラスとなる見込み。(宿泊施設)
  - ・5月以降については円安による海外客やクルーズ船客の増加により前年より多くなるものと予想している。ただ、物価高や旅行費用が上昇しているのでどうなるか不透明なところもある。(観光施設)
  - ・インバウンドについてはこれまで通り韓国や台湾などのアジアの国々のほか、アメリカやオーストラリアからの客も増えており、今後年間を通してコロナ禍前を越えてくると見ている。(公的機関)

## 【住宅建設】

### 持ち直しの動きに一服感がみられる

小樽市の新設住宅着工戸数は、持家が前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。  
小樽市以外の後志管内の一部地域では、住宅建設は順調であるとの声が聞かれている。

#### 新設住宅着工戸数(小樽市)



(単位:戸、%)

	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
4年	417	▲14.5	163	▲23.8	226	▲5.8	2	皆増	26	▲23.5
5年	212	▲49.2	124	▲23.9	78	▲65.5	2	0.0	8	▲69.2
5.1~3	26	▲58.7	18	▲25.0	4	▲85.2	1	皆増	3	▲75.0
4~6	89	▲15.2	41	▲29.3	47	11.9	1	皆増	0	皆減
7~9	61	▲65.5	31	▲36.7	27	▲77.9	0	皆減	3	▲25.0
10~12	36	▲50.0	34	6.3	0	皆減	0	0.0	2	▲60.0
6.1~3	10	▲61.5	5	▲72.2	4	0.0	0	皆減	1	▲66.7
5年10月	19	▲62.7	17	13.3	0	皆減	0	0.0	2	▲33.3
11月	7	▲30.0	7	▲30.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12月	10	▲9.1	10	42.9	0	皆減	0	0.0	0	皆減
6年1月	2	▲80.0	2	▲66.7	0	皆減	0	0.0	0	0.0
2月	0	皆減	0	皆減	0	0.0	0	皆減	0	皆減
3月	8	▲27.3	3	▲66.7	4	皆増	0	0.0	1	▲50.0

(資料)国土交通省

#### 住宅建設に関する生の声

・持家の確認申請数が前年より少ない要因は、資材等の高騰に伴う住宅価格の上昇、物価高騰による生活防衛意識の高まりの影響と考えている。(公的機関)

・一部地域の戸建住宅、共同住宅ともに確認申請数が前年より多い要因は、コロナ感染症の5類移行の影響により経済活動が活発になってきているためと考えている。(公的機関)

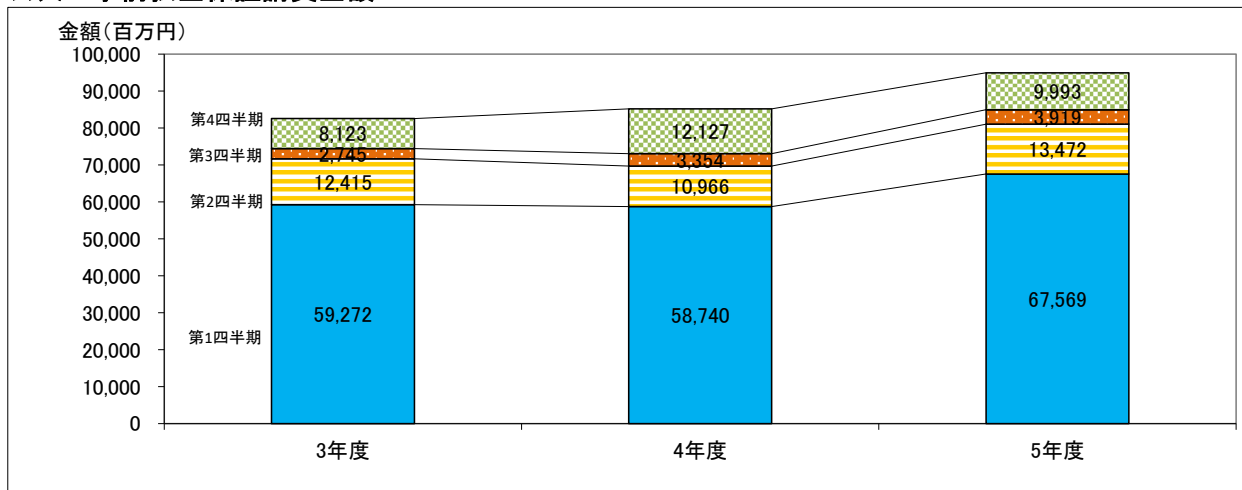


【公共工事】

年度累計では前年を上回る

公共工事前払金保証請負金額は、四半期（令和6年1-3月）合計は前年を下回っているものの、年度累計は前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(単位: 百万円、%)

	月間		累計(年度)	
		前年比		前年比
4年度	—	—	85,187	3.2
5年度	—	—	94,953	11.5
5.1~3	12,127	49.3	85,187	3.2
4~6	67,569	15.0	67,569	15.0
7~9	13,472	22.9	81,041	16.3
10~12	3,919	16.8	84,960	16.3
6.1~3	9,993	▲ 17.6	94,953	11.5
5年10月	2,825	▲ 62.9	83,867	17.4
11月	642	▲ 12.1	84,510	17.1
12月	450	▲ 49.3	84,960	16.3
6年1月	67	▲ 30.0	85,028	16.2
2月	1,073	▲ 81.1	86,101	16.7
3月	8,851	▲ 22.6	94,953	11.5

(資料) 北海道建設業信用保証(株)

※1. 公共工事前払金保証請負金額は、令和4年7月に集計方法が変更となったため、適及可能な範囲で再計算している。そのため以前までの数字と連続しない。

※2. 四半期の数字は、端数の関係で単月3ヶ月の累計と一致しない。

【生産】

持ち直しつつある

生コン出荷状況は、官需は前年を上回ったものの、民需が前年を下回ったことから、全体では前年並みとなっている。

水産加工は、主原料であるニシンの漁獲が好調だったものの、円安等の影響によりその他原材料等が十分に確保できなかったことから、堅調となっている。

金属・機械は、機械生産は需要の伸びにより順調となっているものの、金属加工は受注量の減少によりやや低調となっている。

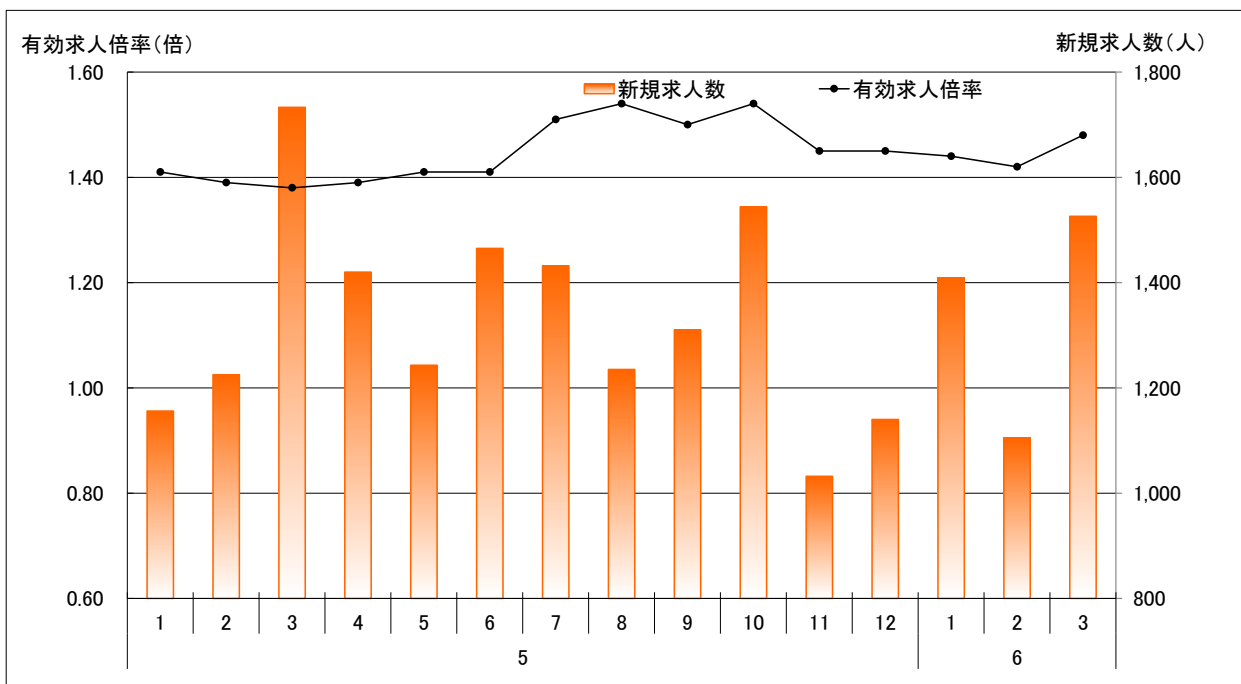
プラスチック・ゴムは、プラスチック製品は受注の反動減があるものの引き続き底堅い動きとなっており、ゴム製品は受注量の減少によりやや低調となっている。

【雇用】

緩やかに持ち直している

新規求人数は前年を下回っているものの、有効求人倍率は前年をやや上回っている。

有効求人倍率(常用・原数値)、新規求人数



(単位:人、%、倍、ポイント)

	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数	
		前年比		前年比		前年差		前年比		前年比
4年	31,906	▲ 7.9	42,511	15.6	1.33	0.27	7,098	▲ 4.1	15,226	15.7
5年	31,493	▲ 1.3	45,540	7.1	1.45	0.12	6,992	▲ 1.5	15,935	4.7
5.1~3	7,769	▲ 2.9	10,812	14.0	1.39	0.21	2,032	7.1	4,114	12.9
4~6	8,532	▲ 3.0	11,983	9.9	1.40	0.16	2,047	▲ 2.6	4,128	5.5
7~9	7,721	1.4	11,706	8.7	1.52	0.11	1,488	▲ 5.4	3,977	1.7
10~12	7,471	▲ 0.3	11,039	▲ 2.8	1.48	▲ 0.04	1,425	▲ 6.6	3,716	▲ 1.1
6.1~3	7,518	▲ 3.2	10,868	0.5	1.45	0.06	1,841	▲ 9.4	4,040	▲ 1.8
5年10月	2,547	▲ 1.4	3,910	▲ 0.7	1.54	0.02	518	▲ 9.0	1,544	15.7
11月	2,518	▲ 0.6	3,649	▲ 4.9	1.45	▲ 0.07	497	▲ 5.7	1,032	▲ 13.9
12月	2,406	1.2	3,480	▲ 3.0	1.45	▲ 0.06	410	▲ 4.7	1,140	▲ 6.9
6年1月	2,382	▲ 1.4	3,431	0.9	1.44	0.03	547	▲ 6.8	1,409	21.9
2月	2,515	0.2	3,569	2.7	1.42	0.03	594	0.0	1,105	▲ 9.8
3月	2,621	▲ 7.9	3,868	▲ 1.8	1.48	0.10	700	▲ 17.7	1,526	▲ 11.9

(資料)小樽・岩内公共職業安定所  
※本指標は常用と常用パートの合計である。

雇用に関する生の声

・求人が増加している要因は、コロナ感染症が以前より落ち着いたことによる観光業の回復、医療、介護機関における診療、介護体制の正常化によるところが大きいと考えられ、人手不足は続いている。(公的機関)

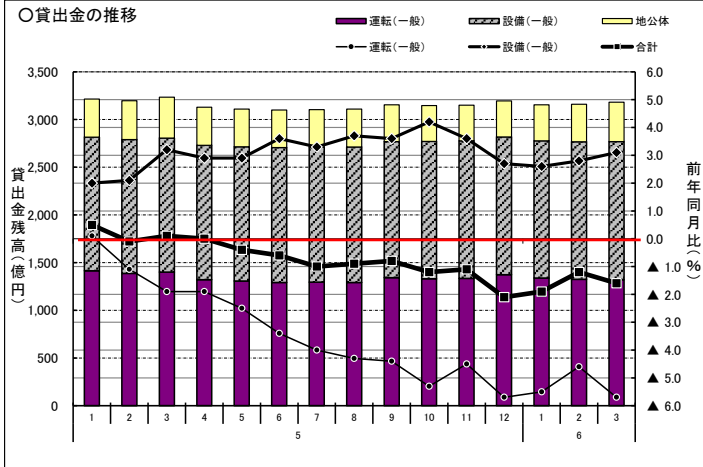
・人手不足はあるものの、業種によっては円安や物価高等により募集を控えたり、求人を出しても応募する人がいないため、社内での人員再配置等により途中で求人を取りやめたという動きもみられている。(公的機関)

# 参考

## 【金融】

### 貸出金残高は前年を下回る

#### 金融(貸出金)



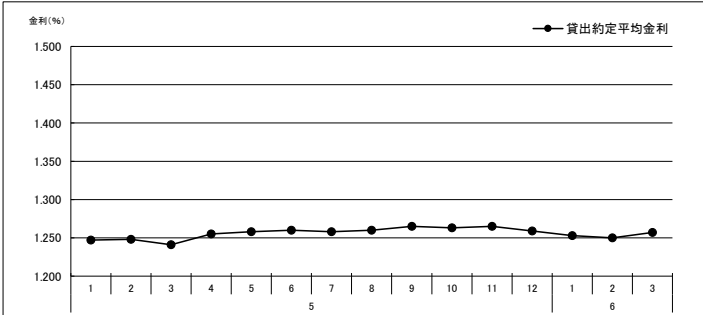
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				前年比
	設備(一般)	運転(一般)	地公体	合計	
5年3月	140,567	140,064	42,774	323,405	0.1
6年3月	144,881	132,088	41,192	318,161	▲1.6

5年10月	143,990	133,054	37,610	314,654	▲1.2
11月	144,239	133,360	37,412	315,011	▲1.1
12月	144,548	137,293	37,712	319,553	▲2.1
6年1月	143,827	133,762	37,912	315,501	▲1.9
2月	144,234	132,416	39,312	315,962	▲1.2
3月	144,881	132,088	41,192	318,161	▲1.6

(注) 1. (一般)は法人及び個人向けの貸出である。  
2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。

#### 金融(貸出約定平均金利)



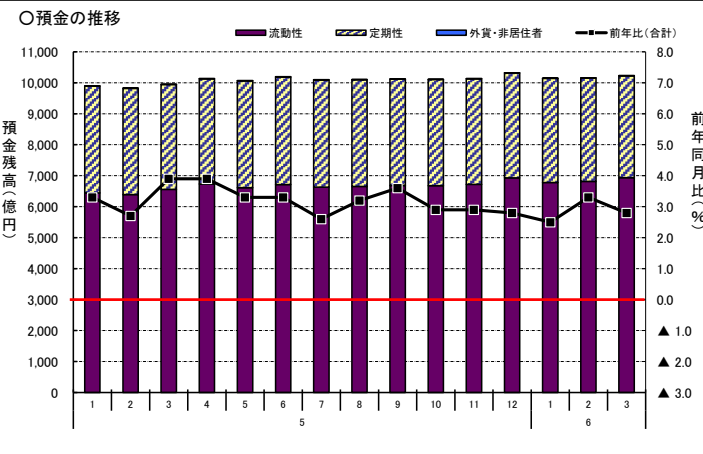
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金利(%)	前年差(Pt)
5年3月	1.241	▲0.002
6年3月	1.257	0.016

	金利(%)	前月差(Pt)
5年10月	1.263	▲0.002
11月	1.265	0.002
12月	1.259	▲0.006
6年1月	1.253	▲0.006
2月	1.250	▲0.003
3月	1.257	0.007

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

#### 金融(預金)



(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				前年比
	流動性	定期性	外貨・非居住	合計	
5年3月	656,075	338,233	772	995,080	3.9
6年3月	693,703	328,964	492	1,023,159	2.8

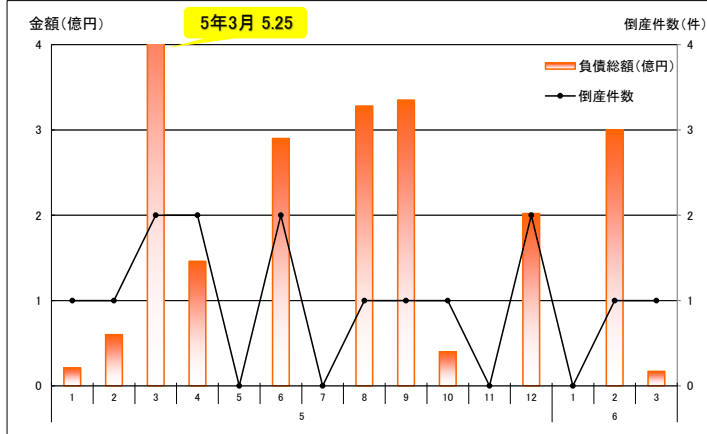
5年10月	667,683	342,921	625	1,011,229	2.9
11月	671,907	341,139	646	1,013,692	2.9
12月	693,259	338,205	607	1,032,071	2.8
6年1月	678,006	336,412	675	1,015,093	2.5
2月	681,479	333,741	638	1,015,858	3.3
3月	693,703	328,964	492	1,023,159	2.8

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

【企業倒産】

件数、負債総額とも前年を下回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)



(資料) 株式会社東京商工リサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
4年	6	▲ 45.5	1,666	14.0
5年	13	2.2倍	1,947	16.9

5.1~3	4	2.0倍	606	2.0倍
4~6	4	2.0倍	436	34.2
7~9	2	皆増	663	皆増
10~12	3	50.0	242	▲ 76.7
6.1~3	2	▲ 50.0	317	▲ 47.7

5年10月	1	0.0	40	▲ 95.9
11月	0	0.0	0	0.0
12月	2	2.0倍	202	2.9倍
6年1月	0	皆減	0	皆減
2月	1	0.0	300	5.0倍
3月	1	▲ 50.0	17	▲ 96.8

お問い合わせ先

財務省 北海道財務局

小樽出張所 財務課

〒 047-0007 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

E-mail HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp